

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

全国離島大会を終えて

中種子中学校 捕 将太郎

今回、夏休みに中種子中学校野球部は、愛媛県で行われる離島大会に出場しました。自分にとって、初めでの離島大会でした。なので、すごく楽しみにしてました。自分は試合に出たい気持ちでいっぱいでした。練習にも、一生懸命取りくみました。愛媛について、抽選会が終わリ一日たつて一試合目が行われました。

自分は、スタメンに入れませんでしたが、すごくやさしかったです。試合が始まつて、一時してから相手にち点相手にとられました。でも、先輩方は全くあきらめてなかつたです。その結果、ち点もとり返しました。しかし、相手もそう点をとらしてくれず、接戦が続きました。試合の結果、ち対ちで負けてしまいました。三年生にとっては、最後の試合だったのに、勝たせてあげられませんでした。先輩方の分も自分達がかんばります。

(不許複製)

No.

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかなぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかなぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

全国離島大会を終えて

中種子中学校 浜崎 海志

今回僕は初めて全国離島大会に参加しました。二年生から始めた野球で、大きな大会の参加ができた。そのため二年生から三年生の間は、レギュラー争いが激しくなり日々の練習に力が入りました。

そして向かえた当日開会セレモニーが始まった。大会僕達は去年優勝し優勝候補である隠岐の島あんやらーずと対戦した。優勝候補とあ

中種子町立中種子中学校

る僕達は緊張がピークに達していった。試合は序番に点を取られましたが終ばんに2点を返し勢いに乗りました。が惜しくも時間制限で負けました。とて悔しくて先輩も涙を流してました。しかし僕は離島大会を終えてとても成長したと実感しました。技術面だけでなく、精神面でも成長しました。そして、今の練習でも野球教室で習んだ事は生かされています。この大会は良い経験にたのび、これからの練習に生かしたいです。

(不許複製)

No.

- 5、読みやすいように、とをしっかりとつけましょう。ととは、それぞれ一字にかざえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかざえてマスのなかに入れてきましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」「わ」「へ」と「え」「お」とを、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書き終わったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことをおきない、むだなことをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

全国離島大会に参加して

中種子中学校 日高 虎之介

中体連が終わってから何日がたった日、川

野先生が、

「おまえ達、今回の夏休み全国離島大会に出
れることになったぞ。」その言葉を聞いてとて
もううれしかったです。僕にとっては、初めて
の離島大会だったからです。僕はその試合に
出た。一バで死にもものぐるいで練習に取り組
みました。

そして迎えた一試合目、去年の優勝した予
ームとの対戦で、僕は、サイドとして出れる
ことができませんでした。前半から点をとられ回わ
ってきた僕の打席で何としても塁に出ないと
いけないと思いい不安な気持ちで打ったボール
は左中間を抜けていき三塁打でした。結果は
おしくも負けて先輩の目には、涙がたまりと
ても悔しがっていました。三年生にとっては
最後の大会だったのと思いい僕もとても悔し
かったです。この大会はいい経験になりました。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぎえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。」「」は、それぞれ一字にかぎえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書き終わったなら、何回も読み直し、まちがいをなおして、たりないことばをきき、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三はんめか四はんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

全国離島大会を終えて
 中種子中学校 遠藤 伊知郎
 今日の離島大会は去年の種子島大会があり、
 二度目下した。去年は、全国規模の大会だっ
 たのでとても嬉しかったことを覚えています。
 だけど、結果は全くダメでした。それでも今
 年の愛媛大会に出場させてもらいました。ほ
 くは、とにかく勝つこと、それを目標にして
 いました。

本戦の一試合目は一番バツター下出させて

もらいました。しかし、緊張と興奮から思う
 ようなプレーができませんでした。最後まで
 諦めずにプレーをしたけれど負けました。
 そして交流戦、必ず勝ち下終わる。その強い
 気持ちで臨みました。ほく自身もヒットや盗
 塁、ピンチを盛り立てるようなプレーを
 守備ですることかできました。結果は二試合
 とも勝利。最高の形で試合を終わることか下
 きました。三年生との最後の大会を、笑顔下
 しぬくることができて良かったです。

(不許複製)

20×20

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

全国離島大会が終えて

中種子中学校 中馬 大輝

ぼくたちは、去年、種子島でおこなわれた全国離島大会に参加しました。そのときは、思うような結果がのこせず、悔しい結果で終りました。

ぼくは、今回また、離島大会に参加できるときいて、去年のかりを返してやる。と思いました。そして、抽選会との予チームとあたるのかドキドキしていました。対戦相手は、去

年の優勝予チーム隠岐、島あんやからとあたりました。でも、今のぼくたちなら、絶対勝てると思いましたが、しかし、結果は負けてしまいました。次の日、交流戦がありました。交流戦では2戦とも勝つてよかったです。

そして、最後の交流会では、全国のいろいろなチームとふれあえたのでよかったです。四日間という短い間でしたが、全国のいろいろな人とふれあえたのでよかったです。とてもいい思い出ができて本当によかったです。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れてください。「」は、それぞれ一字にかえてマスのなかに入れてください。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読み直し、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

全国離島大会に参加して

中種子中学校 鎌田 陽馬

ぼくが、この全国離島大会に参加して思い
 出に残ったのは、試合で背番号をもらって、
 ベジチに入って、チーム一丸で全力で試合を
 したことです。対戦相手は、去年の優勝チ
 ムの沖ノ島あんからはずでした。
 だけど、ぼくたちは、今までやってきた事
 を試合でやれば、勝てると思っていて、試合にのぞ
 きました。

試合の序盤は、ぼくたちの流れで試合が進
 んで行きました。しかし、試合の中盤になっ
 て相手チームの打線が爆発して、対ひになっ
 てもまいました。
 そして、試合の終番になつて、ぼくたちの反
 撃が始まりました。ぼくたちの打線も爆発しま
 した。ぼくたちがおしくも逆点出来ずに負けてしま
 した。だけど、くいは残りませんでした。
 この試合で、出た課題をこれからの練習で
 いかして自分のレベルをもっと上げたいです。

(不許複製)

No.

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」のなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しつかり使いわけましょう。
- 8、書き終わったら、何回も読み直し、まちがいをなおして、たりないことをおきない、むだなことをけずりましょう。



20×20

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

全国離島大会をおえて

中種子中学校 田平 大輔

僕は一回、この大会に参加したことがあり
ました。一回目の大会では勝つ事ができなかったが
したので、今年も離島甲子園に参加する
そうづけられた時は、今年こそ絶対勝つてや
ろ、そのように思いで胸がいっぱいでいた。
そして、試合当日僕はレギュラーとして出
場しました。どんな相手でも絶対勝つてやる
そう思いながらプレーしたが、結果は敗け。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

No.

また敗けてしまった。だけれど、そこであきら
めたらもう終わりだ、そう思いながら必か
えた交流戦結果は勝ち。ついに勝利を手に入
れた。この勢いで交流戦は全勝した。
次の日、この日は本戦の決勝戦だ。たけ結
果は雨で両チームの優勝でした。
この日、試合が終わり、それから、さよなら
パーティーがありました。今年のパーティー
では昨年でさながら、他チームとの交流もす
る事ができたのでよかったです。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れてください。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読み直し、まちがいをなおして、たりないことはをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

全国離島大会に参加して
 中種子中学校 熊野 斗真
 ぼくは、昼休みのミーティングで離島大会
 に出場する事を聞きました。その時、どのよ
 うな大会なのだろうどのくらいのカムカ出
 場するのだろうかと気になり不安に思いました。
 そして、いよいよ大会の日が来ました。一
 日目ともきんちょうしながらベンチにいま
 した。結果は、負けてしまいました。しかし
 チームはいつも以上に一丸になっていました。

1. 中種子中学校 熊野 斗真

その次の日からの交流戦の一試合の途中から
 出場しました。しかし、きんちょうとすぎて
 自分のプレーが出来ませんでした。勝てたけ
 ど、ちよつと悔しさの残る試合でした。
 そして、交流戦もおわり、さよならパーティ
 ーがありました。そこでは、全国の離島のチ
 ームとふれ合う事ができたのび良かったです。
 四日間という短い時間でしたが、たくさ
 の人とふれ合う事が出来ました。なのでとこ
 も印象に残る思い出が出来ました。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書き終わったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



1. 題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2. 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3. 文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
4. 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 (曜日)

全国離島大会に参加して

中種子中学校 熊野 大志

僕達が離島大会に参加できると聞いた時は
 手も口も全員がとてもうれしかっていました。
 そして出発式は役場でわざわざひらいてくれ
 てありがたくおもいました。
 そして、出発当日の時は親にもおめでとう
 もらいました。そして開会式の時是最多の村
 九チームということも分かり試合かとても楽
 しくなるだろうと思いました。もちろん本戦は

中種子町立中種子中学校

No.

負けました。でもか交流試合では全
 勝することができチームも盛り上がりました
 最終日の前日は野球教室がひらかれ自分は
 キヤッチャーのこともいろいろ学びました。
 そのあとのお別れパーティではほかの子と
 人と交流を深めることができました。
 この離島大会を通じてもちろん野球のこと
 は学びました。でもか宿泊先でも今後の生活
 でも使えるようなことも学びました。この先
 もがんばりたい。がんばりたいです。

(不許複製)

20×20

5. 読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6. 人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかえてマスのなかに入れましょう。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しつかり使いわけましょう。
8. 書き終わったから、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことをおきない、むだなことをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字きけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字きけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

全国離島大会に参加して

中種季 中学校 林 孝太郎

ぼくは、離島大会に参加すると聞いて、初めなんの事かわからなかったです。でも全国の離島球児達が集まると聞いて、ビックリしました。それでその日からドキドキで楽しみになってきました。

抽選会で、他のチームを見て、やっぱり、全国から来ているだけあってみんな強そうなおチームばかりでした。一回戦の相手は、前回

の優勝チームでした。いきなり強い所とあたったけれど、ぼくは、勝てそうな気がしていました。最終回ら対うで負けていました。でもランナーが出て、一、ろ塁でチャンスでしたけれど、ヒットが出なくて本戦では、負けました。交流戦では、全勝したのには、うれしかったです。野球教室もあっていろいろ教えてもらったので取り入れます。戻って来てさっ、早く、野球教室で学んだ事をやりました。この先もがんばって行きます。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字をかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字をかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字書いて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかり立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字書いて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

() 月 日 曜日

全国離島大会に参加して！

中種子中学校 中嶋 秀

自分は、今年初めて参加して最初に思ったことは、まずどのチームも強そうだなあと思いました。

でも、自分はぜったいに負けるわけにはいかないと思います。自分がそう思った理由は、3年生の先輩達にこそ、それは本当に最後の大会だったからです。

そして、ついに大事な試合が始まりました

中種子町立中種子中学校

No.

その試合の合手は隠岐、島あんやらーずという去年の優勝チームであり、今年の優勝候補のチームと試合をして、一回でいきなり点を取らせて、5回で一気に3点を取ったけど、対ろでおしくもやぶれてしまいました。先輩達は泣をこぼして自分も見えていくがしかつたです。

自分は、試合には出ていなかっただけど、この出もなかつたくがしさをこんどの練習にがつけて、どんなチームにも勝てるようになり

20×20

(不許複製)



- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはをおきない、むだなことはをけずりましょう。

たいです

